

広告

企画・制作／
読売新聞社広告局

医師が教える「美・健康ナビ」



木下 孝昭先生

医療法人社団 孝昭クリニック院長
医学博士

医師による美と健康に役立つア
ドバイス「美・健康ナビ」を毎月
1回、シリーズで連載しています。

第17回

気になる「ニオイ」の治療法
「こもる体臭

冬こそしっかりと対策を」

寒くなり汗をかいていないのにな
んだか臭う、そんな経験はありま
せんか。じわりとかいた汗が厚着
でむれて、夏より体臭が気になる
場合も。冬こそケアが必要です。

汗腺は2種類あります。多汗
症のように日常生活に支障をきた
す大量の汗は、「エクリン腺」から放
出されます。また、特有の臭いが
するいわゆる「わきが」は、「アポク
リン腺」からの汗に雑菌や脂肪酸
が混ざって起こります。

わきがが治療の選択肢は増えてい
ます。わきを切開し、皮膚の内側
からアポクリン腺を取り除く保険
適応の剪除法^{せんじょ}は、比較的效果が高
いとされますが、術後に長い安静
期間が必要で、感染症、傷痕など
問題もあります。汗の量の調節に
は、週2〜3回の塗布で汗の量が
抑えられる制汗剤や汗止めの注射
があります。マイクロ波を利用し
て皮膚表面から治療する方法は、
両方の汗腺に効果があり、切らな
くてよいのがメリットです。悩みや
症状を医師としっかり相談し、最
適な治療法を選択してください。

協力／医療法人社団 ^{こうしょう}孝昭クリニック

電話：0798-22-4466 〒662-0051 兵庫県西宮市羽衣町5-13 ワジュール夙川(しゅくがわ)ビル1・2・3F